

令和6年度 学校評価 自己評価書（3学期）

1 学校の重点目標

・主体的な行動力 ・志を実現できる学力 ・互いに支え合う人間関係 ・明るくたくましい心と体

2 評価結果と改善策（評価は4段階評価）

		評価項目	職員	評価結果と改善方策
めざす生徒像への方策	礼を正し	1 あいさつ指導 2 言葉遣い・マナー指導 3 服装・みなり指導	3.3 3.1 3.4	・ あいさつをきちんとできる生徒が多いが、廊下でのあいさつ（会釈）についても指導を徹底したい。 ・ 相手の人権を否定するような言動は絶対によくないことの意識付けを継続的に行っていく。
	場を清め	1 清掃指導 2 履き物をそろえる指導 3 教室の環境整備 4 安全への配慮	3.5 2.9 3.3 3.7	・ 師弟同行を心掛けて取り組むことができた。 ・ 部活動の道具や部室等の整理等についても、指導していききたい。 ・ 毎月行われる安全点検で、危険箇所等がないかを確認することができたが、十分な修繕が行われない箇所もあった。
	時を守る	1 時間を守る指導 2 始業3分前の行動 3 提出物等の確実な提出	3.2 3.4 3.4	・ 生徒も職員も一緒に早め早めの行動開始を心掛けてきたため、授業開始を落ち着いた状態で始めることができた。来年度も継続したい。 ・ 登校してからの有効的な時間の使い方等についてできていない生徒への指導を徹底していく。
重点課題への具体的方策	心の教育	1 道徳教育 2 郷土教育 3 学校行事 4 奉仕活動	2.8 2.9 3.1 3.0	・ 道徳の授業については、担任・副担任が協力して実施できるようにしていきたい。 ・ 朝のボランティア活動への取組を行っているが、自分から進んで取り組んでいく姿勢を育てていきたい。
	生徒指導	1 生徒理解に基づく指導 2 人権同和教育 3 特別支援教育 4 生徒会活動 5 学級活動	3.0 3.1 3.1 3.0 2.9	・ 今後も授業中の相互理解を深める活動等を取り入れ、いじめや差別を許さない雰囲気づくりを強化したい。また、生徒の変化に注意を払い、教育相談等を充実させる。 ・ 生徒の責任ある主体的な活動を生み出すよう目的を明確にしたり見通しをもたせたりするなどの指導を工夫する。
	確かな学力	1 学習指導 2 土曜授業の活用 3 キャリア教育 4 読書指導 5 家庭学習	3.1 2.6 2.9 2.8 2.8	・ 学力向上プログラムの研究授業の実践により、職員がお互いに授業の実践を学び合い、授業力向上に努めることができた。 ・ 始業前の時間の有効活用や土曜授業の取組を検討し、学力向上につなげることができた。
	体力・気力・安全	1 保健指導 2 健康観察の充実 3 給食指導 4 部活動指導 5 安全指導	2.9 3.3 2.9 3.0 2.9	・ 来年度は、学びポケットの活用を図り、朝の健康観察や欠席連絡等をスムーズに やっていききたい。 ・ う歯の治療率を上げる取組について、担任を中心に養護教諭と一緒に家庭との連携と指導を勧めた。来年度も継続して取り組む。
	学校環境	1 環境整備 2 PTA活動の活性化 3 職員研修	2.6 2.9 2.8	・ 学校主事と生徒会との連携や地域とPTA等の協力もあり、学校緑化の充実した取組ができた。 ・ PTA活動については、コロナ禍前の状態に戻ってきたが、中身の精選を図りながら、魅力ある活動として実施することができた。
	関係機関との連携	1 関係機関との連携 2 小中連携	3.1 2.4	・ 例年以上にSCやSSWとの連携を図ることができ、生徒指導に生かすことができた。さらに充実させたい。

3 次年度に向けた取組

- ・ 鹿児島学力・学習定着度調査の分析を生かし、学年の実態に応じた学力向上に向けた取組を推進する。
- ・ 年度末及び年度始めの領域部会を充実させ、引継ぎを確実にし、課題解決の具体策を講じる。
- ・ 職員が生徒指導や校務にあたる時間を作れるよう、業務改善の一環として校時表の見直しを行う。
- ・ 小中連携（三校PTA連絡協議会も含め）により、PTAとも連携しながら、生徒のネットやゲーム依存からの脱却に向けた啓発活動等を継続する。